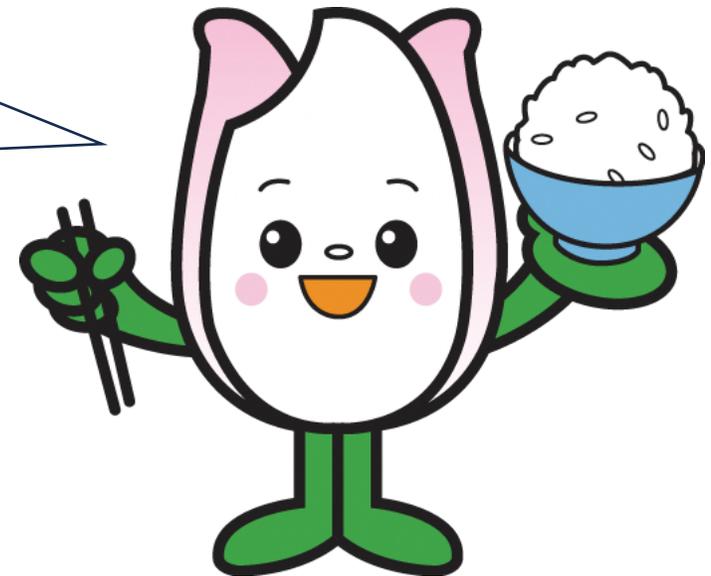


学校で確実に指導をお願いします

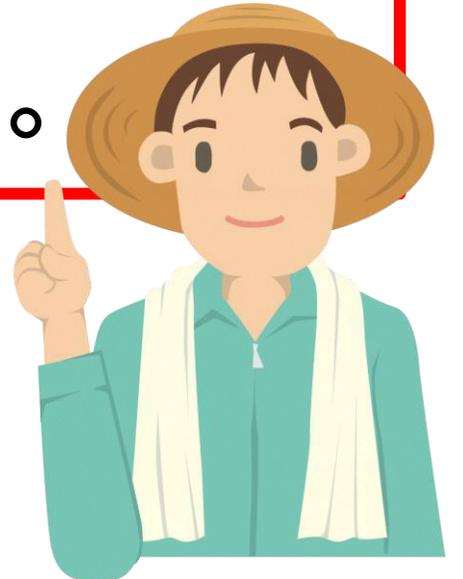
# 新潟市学校教育田 体験活動マニュアル

学校ごとに条件が違うことが考えられるっふ。  
このマニュアルを参考にして自校化して指導を  
行ってねー！



## 心構え（約束）

- 農家さんの大切な田んぼを使わせてもらっているという感謝の気持ちをもって活動する。
- 礼儀正しい「あいさつ」や「行動」をする。
- 農家さんや担当の方の話を静かに聞く。



# 田植え体験編



# 田植えの服装

- 半袖・短パン（体育着でもよい）
- 帽子（赤白帽子）
- 裸足でサンダルを履く（田に入るときは裸足）
- ※タオルと水筒を持つ
- ※雨天時は雨ガッパを着る



# 児童生徒の持ち物

- ①サンダル（泥で内側も外側も汚れます・袋に入れてくる）
- ②帽子（赤白帽でよい）
- ③タオル（汗ふき・手洗い用）
- ④足ふき雑巾（タオルでもよい）
- ⑤雨具（かっぱ）
- ⑥水筒
- ⑦着替え
- ⑧汚れものを入れるビニル袋
- ⑨ワークシート（学校で用意）

# 引率者の持ち物

※場所によって持ち物が違うので、農家さんや担当の方と確実に確認をしてください。

○救急用品

○足を洗うための水を入れるバケツ数個

○ハンドマイク

○荷物を置くビニールシート

○横断旗

○携帯電話（緊急連絡用）

○タブレット（活動記録用）

# 田に移動するとき

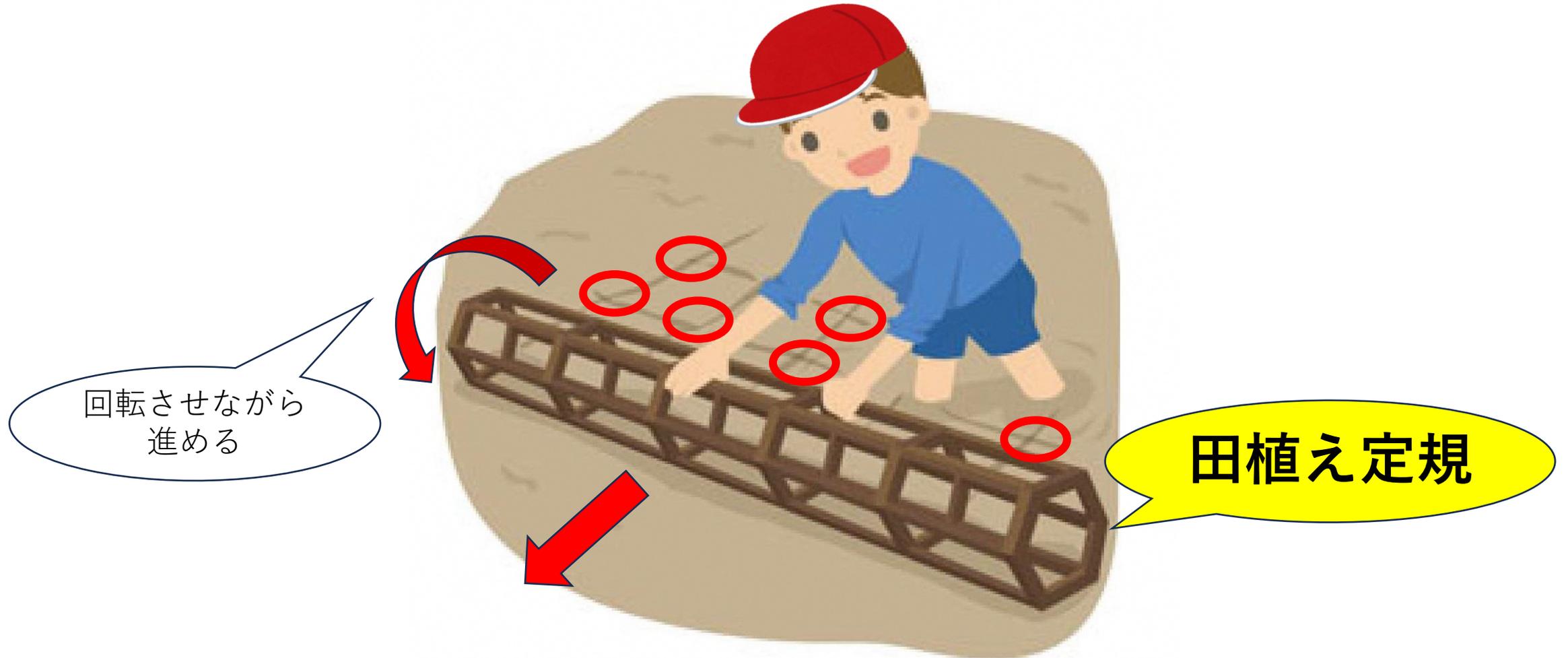
- 田植えの服装で移動する。
  - 道路を歩くときは、歩道を並んで歩き、他の通行人に気を配る。
  - 引率者や交通整理の方の指示に従い、車に気を付ける。
  - あぜ道を歩くときは、あぜ道を崩さないようにする。
- ※整列や移動は安全に整然と行う。



あぜ道

# 田植えの仕方 ～田植え定規～

- 田植え定規で田んぼに線を引き、苗を植える場所を決める。（引いてあれば省略）
- 田植え定規を回転させながら先に進めることで、田に苗を植える目印（線の交わり）ができる。



# 田植えの仕方

- 苗床から苗を3～4本取って、親指・人差し指・中指でつまむように持つ。
- 地面についている線が交わっている所にとった苗を押し込む。
- 苗の根と茎の半分くらいが土に埋まるようにする。



苗床



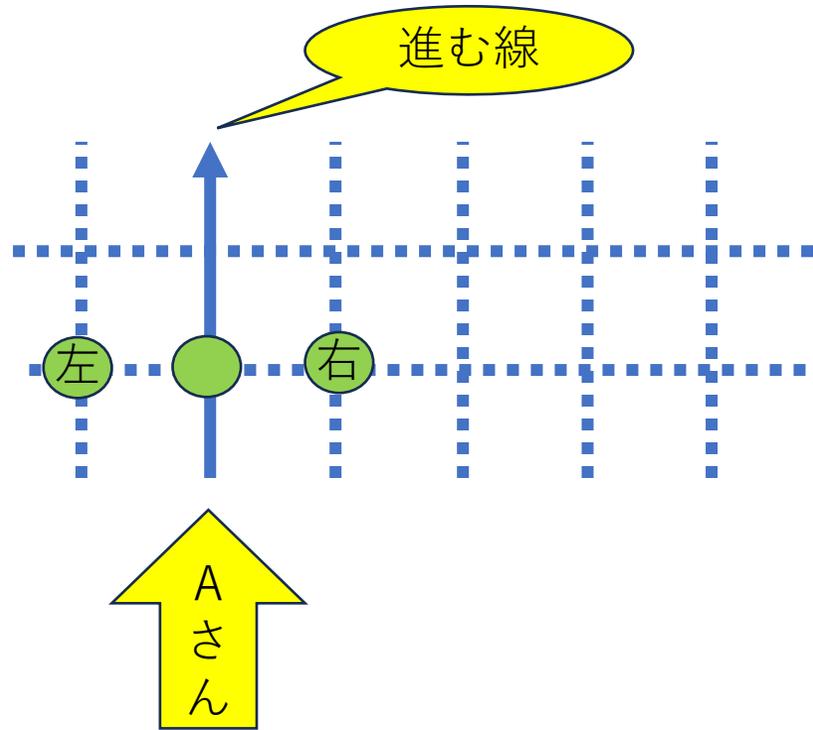
線の交わり



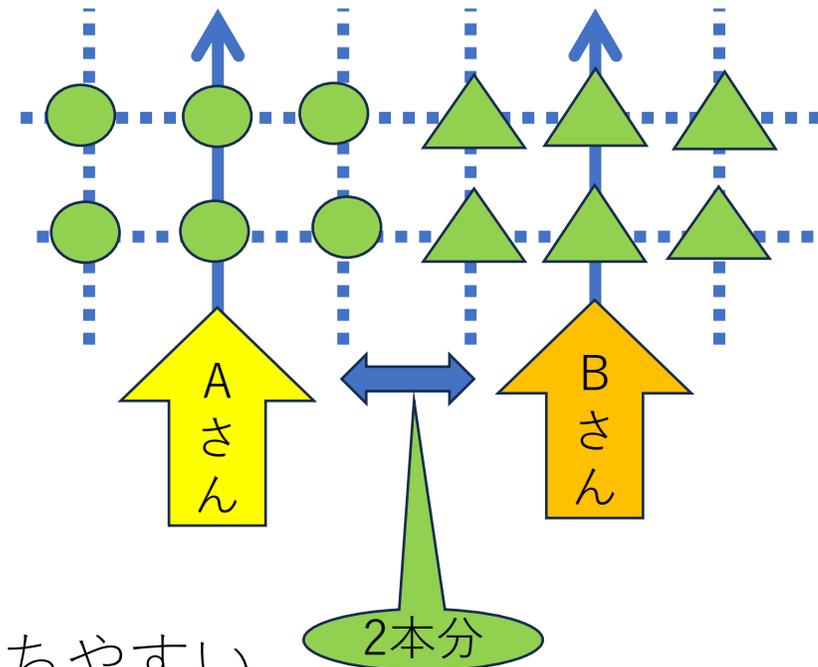
※苗は丁寧に扱います

# 田植えの仕方

- 進む線上と左右の3カ所を植えて、そのまま前に進んで植えていく。



- となりの人と隙間を作らないように植える  
(たて2本分の線を空けて並ぶと隙間なく植えられる)。

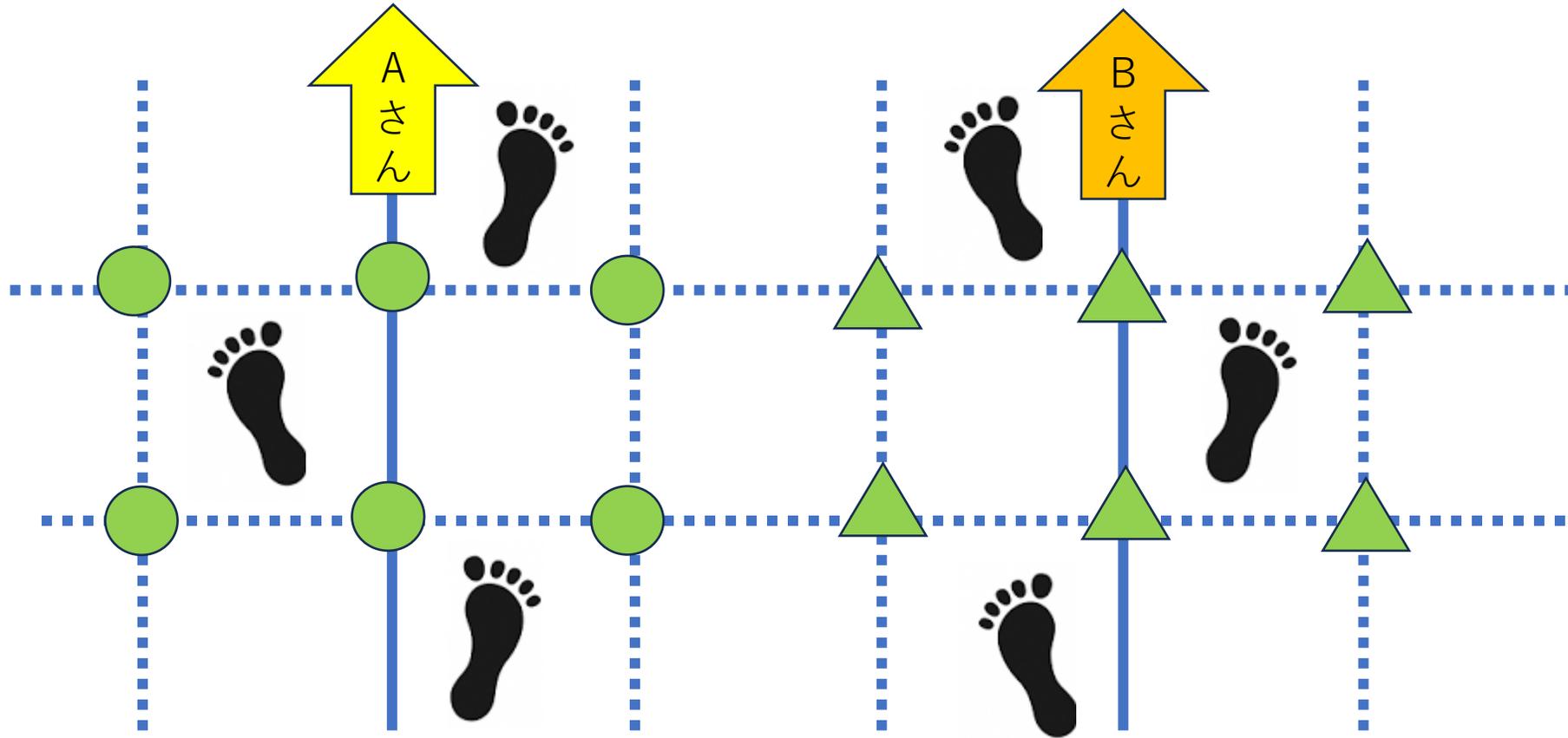


※列がまっすぐになるように植えると育ちやすい

※植えた苗を踏まない

# 田植えの仕方

- 進むとき、苗を踏まないように四角形の中に足を入れていく。



※苗がなくなったら、あぜ道にいる人から投げてもらい、田の中を歩き回らないようにする。

※田から出るときは、田の中をなるべく歩き回らないように近くから出る。

# 田植えが終わったら

- ・サンダルを履いて足洗い場へ移動する。  
(田の近くに足洗い場がないことが多いので、泥の付いたままサンダルを履くこともある)
- ・足洗い場に着いたら手や足とサンダルを洗う。  
(順番を待っている友達がいるので素早くする。周りの人に泥や水をかけないように気を付ける)
- ・洗い終わったらタオルや足ふきぞうきんで手や足を拭く。サンダルもぞうきんで水気を切る。
- ・サンダルを入れてきた袋にしまい、着替え場所に行って着替える。  
(汚れ物は汚れ物入れ用に持ってきた袋に入れる)
- ・着替えが終わったら、ワークシートに学んだことを記入する。

# 機械植え見学時のポイント



- 田植機で植える速さは、手植えと比べてどのくらい違うかな？
- 田植機では、一度に何列植えているかな？
- 手で植えた苗と田植機で植えた苗とを見比べて、気が付くことはないかな？

※きちんと並んで、口を閉じて見学しよう！

# 中間管理（除草）編



# 除草時の服装

- 半袖・短パン（体育着でもよい）
- 帽子（赤白帽子）
- 裸足でサンダルを履く（田に入るときは裸足）
- ※タオルと水筒を持つ
- ※雨天時は雨ガッパを着る

# 児童生徒の持ち物

- ①サンダル（泥で内側も外側も汚れます・袋に入れてくる）
- ②帽子（赤白帽でよい）
- ③タオル（汗ふき・手洗い用）
- ④足ふき雑巾（タオルでもよい）
- ⑤雨具（かっぱ）
- ⑥水筒
- ⑦着替え
- ⑧汚れものを入れるビニル袋
- ⑨ワークシート（学校で用意）

# 引率者の持ち物

※場所によって持ち物が違うので、農家さんや担当の方と確実に確認をしてください。

- 救急用品（熱中症対策として、クーラーボックスに氷等を入れてくるとよい）
- 足を洗うための水を入れるバケツ数個
- ハンドマイク
- 荷物を置くビニールシート
- 横断旗
- 携帯電話（緊急連絡用）
- タブレット（活動記録用）

# 田に移動するとき

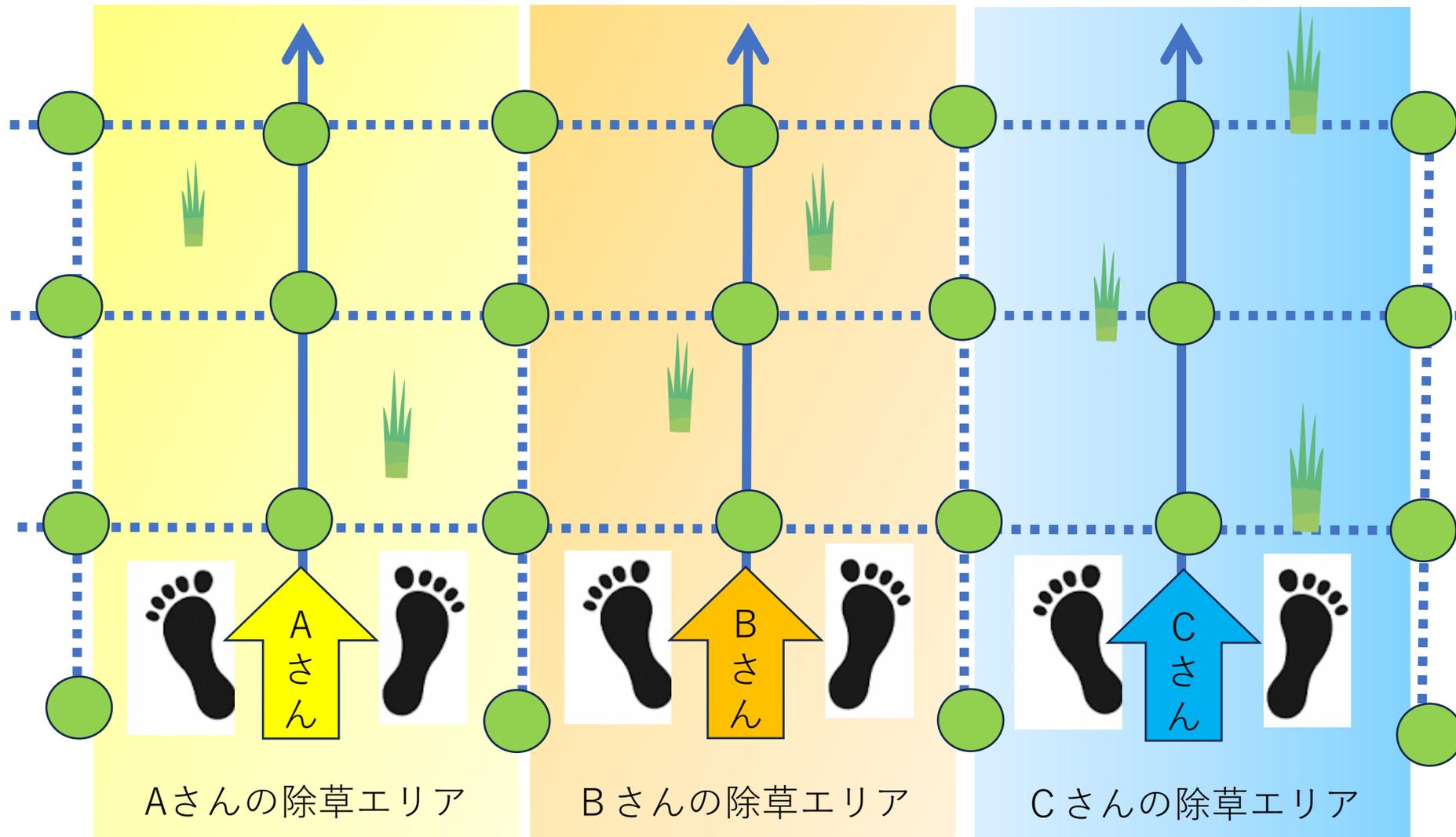
- 除草時の服装で移動する。
- 道路を歩くときは、歩道を並んで歩き、他の通行人に気を配る。
- 引率者や交通整理の方の指示に従い、車に気を付ける。
- あぜ道を歩くときは、あぜ道を崩さないようにする。
- 熱中症予防として、移動前に水分補給を確実にする。
- ※整列や移動は安全に整然と行う。



あぜ道

# 除草の仕方

田んぼに入って、稲1列をまたいで立ちます。その列を前に進みながら除草していきます。



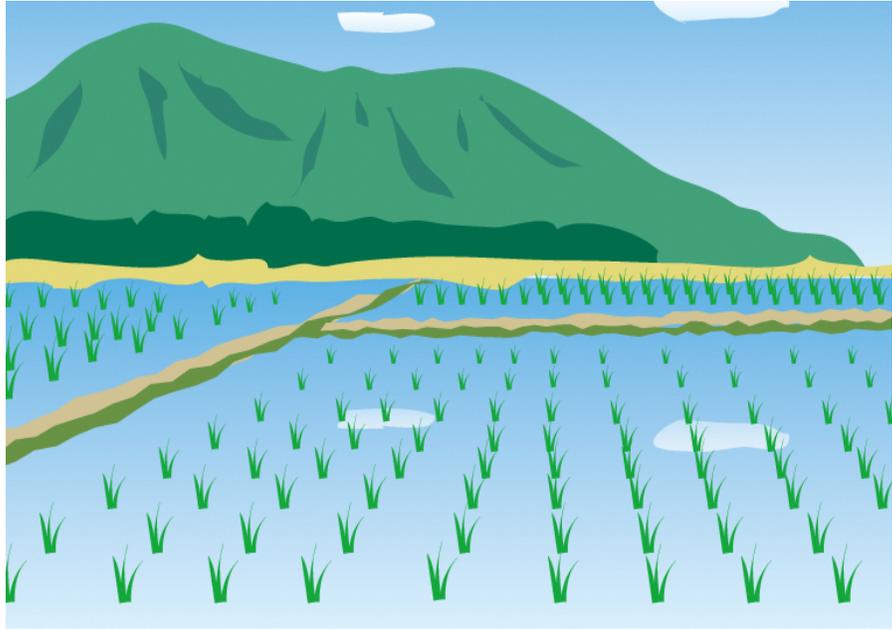
# 除草時の注意

- 苗を踏まないように気を付ける。
- 苗を倒してしまったときは、  
苗の周りに土を寄せながら苗を起こす。
- 雑草は、根ごと抜き取る。
- 抜いた雑草は、雑草入れ用のネットに入れる。
- 稲と雑草を間違えない。  
(区別が難しいので、現地でよく説明を聞いて  
行う)

# 除草が終わったら

- ・サンダルを履いて足洗い場へ移動する。  
(田の近くに足洗い場がないことが多いので、泥の付いたままサンダルを履くこともある)
- ・足洗い場に着いたら手や足とサンダルを洗う。  
(順番を待っている友達がいるので素早くする。周りの人に泥や水をかけないように気を付ける)
- ・洗い終わったらタオルや足ふきぞうきんで手や足を拭く。サンダルもぞうきんで水気を切る。
- ・サンダルを入れてきた袋にしまい、着替え場所に行って着替える。  
(汚れ物は汚れ物入れ用に持ってきた袋に入れる)
- ・着替えが終わったら、ワークシートに学んだことを記入する。

# 中間管理時の水田観察のポイント



バケツ稲



- 稲の長さは何cmになったかな？
  - 稲の長さの他にも、稲の様子で変わったことはないかな？
  - 水田の水の量はどのくらいかな？
  - 気温や水温は何度かな？
  - 見学时、農家さんはどんな作業をしているのかな？
  - 水田の周りで何か気が付くことはあるかな？
  - バケツ稲を育てていたら、バケツ稲との生長の違いを比べよう。
- ※観察カードにしっかりと記録をしよう！



# 稲刈り体験編

# 稲刈りの服装

- 長袖・長ズボン（体育着でもよい）
- 帽子（赤白帽子）
- 長靴
- 軍手
- ※タオルと水筒を持つ
- ※雨天時は雨ガッパを着る



# 児童生徒の持ち物

- ①長靴（袋に入れてくる）
- ②帽子（赤白帽でよい）
- ③タオル（汗ふき・手洗い用）
- ④軍手
- ⑤雨具（かっぱ）
- ⑥水筒
- ⑦着替え
- ⑧汚れものを入れるビニル袋
- ⑨ワークシート（学校で用意）

# 引率者の持ち物

※場所によって持ち物が違うので、農家さんや担当の方と確実に確認をしてください。

## ○救急用品

（熱中症対策として、クーラーボックスに氷等を入れてくるとよい）

## ○ハンドマイク

## ○荷物を置くビニールシート

## ○横断旗

## ○携帯電話（緊急連絡用）

## ○タブレット（活動記録用）

# 田に移動するとき

- 稲刈りの服装で移動する。
  - 道路を歩くときは、歩道を並んで歩き、他の通行人に気を配る。
  - 引率者や交通整理の方の指示に従い、車に気を付ける。
  - 熱中症予防として、移動前に水分補給を確実にする。
- ※整列や移動は安全に整然と行う。



# 稲刈りの仕方～鎌の使い方～

OK

親指を上向きにして  
稲の束を握る

握っている手の下  
に鎌を当て手前に  
引きながら刈る

手前



手元が見やすいように、  
中腰でなく腰を落として刈る

悪い例



親指が下向きだと  
指を切りやすい



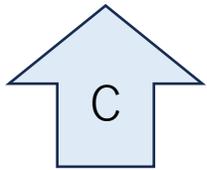
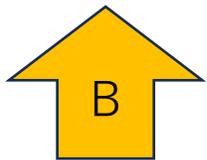
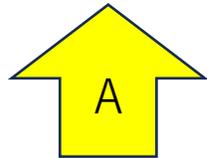
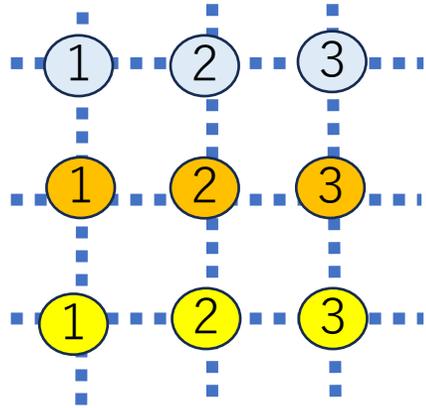
鎌が上だと  
指を切りやすく  
力も入りにくい



# 稲刈りの仕方（1人1本の鎌を使う場合）

- ①稲を1束刈ったら、刈った稲は下に置く。
  - ②2束目（1束目のとなり）を刈ったら、1束目と穂先をそろえて置く。
  - ③3束目（2束目のとなり）を刈ったら、鎌は下に置き、置いておいた稲を拾い、3束まとめて穂先をそろえ、稲を集める場所まで運ぶ。
  - ④自分の鎌のある場所に戻って稲刈りを続ける。
- ①～④を時間が来るまで繰り返す

# 稲刈りの仕方（1本の鎌を複数人で使う場合の例）



3人のグループで、稲刈り鎌1本を交代で使う。  
左利きの児童は専用の鎌があるので、左利き同士でグループを作る。

①Aは1株刈ったら刈った稲をBに渡す。（3回繰り返す）  
（Bは穂の向きをそろえる）  
Aは3株刈り取ったら、鎌を下に置き、刈った稲をBから受け取り、  
稲を集める場所（※）まで運ぶ。運んだら、Cの後ろに並んで待つ。

②Bは鎌を拾い、Aと同じように稲を刈り、刈った稲をCに渡す。  
<以下は①の流れと同じ>

③両隣のグループと声を掛け合いながら、グループの間に刈り残りが  
ないようにする。

④落ち穂がないように、落ちていたら拾う。

※稲を集める場所がコンバインの場合もある

# はさ 稲架がけの仕方

稲を干して乾かす場合

2 根元の方をひもで強く結ぶ  
(弱いとほどける)

稲の束

1 穂先をそろえる

3 結んだ稲の束を  
半分に分けて開く

4 分け目を棒にかける



# 稲刈りが終わったら

- ・ 足洗い場に移動し、手や長靴を洗う。  
(順番を待っている友達がいるので素早くする。周りの人に泥や水をかけないように気を付ける)
- ・ 長靴を入れてきた袋にしまい、着替え場所に行って着替える。  
(汚れ物は汚れ物入れ用に持ってきた袋に入れる)
- ・ 着替えが終わったら、ワークシートに学んだことを記入する。

# 機械刈り見学時のポイント



- 手刈りと比べて、刈り取る速さはどのくらい違うかな？
  - 一度に何列刈り取っているかな？
  - コンバイン（稲刈り機）のどこで刈り取っているかな？
  - コンバインは、稲を刈り取っているだけかな？後ろから何か出てないかな？
  - 稲についていた粃はどこに行ったのかな？
- ※きちんと並んで、口を閉じて見学しよう！